

## 市 研 特別活動 速報

### 【低学年部会】

発行日 平成28年7月12日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り拓く子どもを育てる学級活動の在り方  
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるには～

活 動 名 「みんな だいかつやく！ 『おしごとすたあ』になろう」

#### ○活動のねらい

「みんな だいかつやく！ 『おしごとすたあ』になろう」の活動を通して、自分が好きな仕事を見つけ、役割を果たす楽しさを味わいながら、みんなのために進んで活動しようとする態度を育てる。

#### ○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・一人ひとりが自分の役割を果たすことができるように、仕事分担表に自分の『おしごと かあど』を貼り、仕事を終えたら裏返して「いつ」「何を」するのか視覚的に分かるようにする。
- ・自分の「おしごと」に自信をもって取り組むことができるように、『すたんぷ かあど』を用意し、「おしごと」をしたらシールを貼り、3回続けたら『おしごとすたあ』を係認定証として授与する。
- ・一人ひとりの「おしごと」の取り組みをみんなで共有し、喜び合うことができるように、『すたんぷかあど』を掲示し、『おしごとすたあ』を係認定証として授与されることで生まれたスペースに、みんなで話し合っただめた絵が表れるようにする。

#### ○研究討議・講評から

- ・子どもたち一人ひとりが「できた」「やった」「もっとやりたい」という思いをもてるようになっていたことが自己肯定感につながっていてよかった。
- ・係活動の入門期として、子どもにとって自分がやりたいと思える「おしごと」を見つけることを大切にしているところが子どもたちの実態に合っていてよかった。
- ・係認定証をもらうことで、友達から認められていることを実感でき、それが自信となって次も頑張ろうという意欲の高まりにつながっていた。
- ・朝の時間に「おしごと」を選ぶのは時間的にも作業的にも難しい。前日に決めておくとうよかった。そうすることで次の日の意欲にもつながる。
- ・仕事を行うことが一日では難しいという子どもたちの困り感はチャンスであり、「〇〇みたいけど、どうしようか？」と声をかけるなど、問題解決への思考を促すことで小グループでの話合いや子ども同士のかかわりが自然と生まれてくる。子どもたちの葛藤を大事にしたい。
- ・初めて係活動に取り組む子どもたちにとって、おしごとを“見つける”“選び、決定する”“実践する”という流れが自然でよかった。この一連の流れはキャリア教育にも通じている。低学年の係活動では、おしごとを“見つける”ことや“体験する”ことを大切にしていきたい。